

1. 入院の手続きについて

(1) 入院当日に必要なもの

①保険証

※保険証の提示が遅れますと、提示前の費用を全額自費で請求される場合がありますので必ずご持参下さい。

※入院中に保険証等の記載内容に変更が生じたときは、速やかに受付へお申し出下さい。

※労災・交通事故で入院の場合でも保険証等をお持ち下さい。

※保険証等は、毎月1度ご確認くださいませますのでご提示下さい。

※障害者手帳・受給者証・限度額適用認定証・介護保険証もご提示願います。

②個人情報収集同意書

③入院申込書

連帯保証人のご記入（必ず直筆で）をお忘れなくお願い致します。

複写式の書類となっておりますのでお気をつけ下さい。

④印鑑（みとめ印）

保険外負担申込書の記入に使用しますので必ずご持参下さい。

保険外負担申込書は入院時に病棟でご説明し記入いただきます。

⑤緊急連絡先シート

緊急時に携帯電話が通じないことが多くあります。

勤務先の電話番号もご記入下さい（緊急時しか電話しません）。

⑥石巻健育会病院 診察券《お持ちの方のみ》

入院中は入院病棟でお預かりし、退院時に返却致します。

⑦服薬中のお薬・お薬手帳（詳しくは4ページをご覧ください）

⑧転院時に渡された診療情報提供書等

（転院で入院されてくる方のみ）

(2) 入院当日の流れ

①正面玄関or病院裏の入院搬入口（感染状況や体調によります）から入院となります。

②ご家族様は正面玄関よりご案内致します。

③患者様は検査後すぐに入院病棟にご案内致します。

④今後の治療方針について主治医よりご説明させていただきます。

※主治医が外来診療や急患の診療などによりご説明が遅くなる場合があります。

2. 入院の持ち物について

※お箸やスプーン、湯飲み茶碗などの持込は必要ありません。

※シャンプー・ボディーソープ・ハンドタオルや洗面器は必要ありません。

- ☐ 歯ブラシ・歯磨き粉・プラスチックのコップ（1つ）
- ☐ マスク（数十枚単位で入っているボックスでご準備下さい）
- ☐ 入れ歯ケース・ポリデント
- ☐ くし（ブラシ）
- ☐ 電気ひげそり《充電器（乾電池）もお願い致します》
- ☐ ティッシュペーパー（ボックスティッシュ）
- ☐ 靴下（必要に応じて）
- ☐ 靴（踵がかくれる靴）1～2足 《クロックス・スリッパは不可》
リハビリシューズの購入を考えている方は、入院後にご相談下さい
- ☐ タオルケット（3枚）
- ☐ 肌着（5組くらい）
- ☐ パジャマ（3～5組くらい）※病院からの貸し出し病衣もあります《写真1》
- ☐ 爪きり（必要に応じてニッパーをお願いする場合もございます）《写真2》
- ☐ 洗濯物を入れるカゴ《写真3》
※業者によるクリーニング（有料）を希望の方は、15ページをご覧ください
- ☐ テレビ用のイヤホン（テレビをご覧になる方）



※リハビリのために、運動着や普段着もご用意いただく場合もございます

※肌着等の枚数は見込みですので、患者さんの状況により多めにお持ち下さい

（クリーニングを申込まれる方は、多めをお願い致します）

※持ち物には、全て名前を記入して下さい

※歯ブラシ・入れ歯ケース・ティッシュペーパー・イヤホンは、院内でも
購入可能ですので、病棟スタッフにお声がけ下さい

※持ち込みをご遠慮いただくもの： 飲食物、刃物（はさみ、カミソリ等）



写真1



写真2

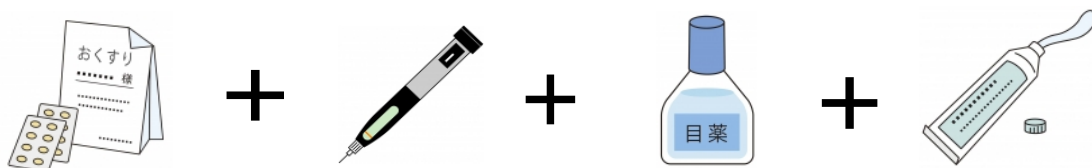


写真3

お薬について

□ 現在使用されているお薬をすべてお持ちください。

- 内服薬、注射薬、吸入薬、目薬、塗り薬等他の医療機関で処方してもらっているお薬や、市販薬等も含まれます。
- 過去に使用していたものはご持参いただかなくて結構です。



□ お薬手帳やお薬説明書を一緒にお持ちください。

- お薬手帳やお薬説明書はあなたのお薬の大切な情報源ですので必ずお持ちください



現在服用しているお薬について、お悩み事やご希望があれば薬剤師までご相談ください。適宜、ご対応いたします。



【お持ちいただいたお薬(持参薬)の管理について】

• 看護師、薬剤師が持参薬をお預かりします。

すべてのお薬と一緒に薬手帳やお薬説明書などもお渡してください。

この時、お薬の服薬状況(きちんと飲んでいるかどうか)や、実際の飲み方など(自分で調節して飲んでいる場合など)をお聞きしますので、お知らせください。

• 薬剤師が持参薬の内容を確認します。

お預かりしたお薬は薬品名、用法、用量などを薬剤師が確認します。

この時に、治療に影響する薬がないか、重複投与(同じお薬が重なって処方されていること)や相互作用(お薬の組み合わせによって一緒に使用すると効果を強めあったり弱めたりすること)などの確認を行います。

また、処置などで中止の必要な薬の確認や、代わりの薬の提案などを行います。

• 医師が継続して服用する薬を決めます。

持参薬の中から、患者さんの病状や入院中の治療などを考慮して、継続して使用する薬を決定し指示します。